

## 産業

**問** 1年半に及びコロナ禍の下で、街の店舗のシャッターがさらに増えている。事業所、店舗の営業経営実態調査を行い、実態にかみ合った支援策を打ち出してほしい。

**答** 「市長」 コロナの影響による市内商工業者の経営等の状況を市商工会に聞き取りした上で、プレミアム付き商品券の増刷発行に取り組むこととした。

## 病院

**問** コロナ禍の市民病院の状況は。「病院事業管理者」 令和2年2月から発熱外来を設置し、通常診療の患者さんと動線を分離して、コロナ感染疑いや陽性の患者さんに対応してきたが、病院施設が感染対策に対応した施設ではないため、患者さんにとっても、職員にとっても、負担が大きい。

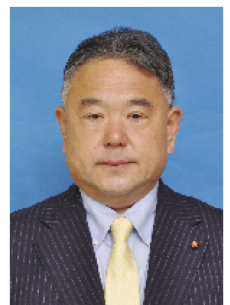
**答** 入院前の患者さん全員にコロナ抗原定量検査（PCR検査と同様の精度）を行い、陰性を確認した上で通常の入院となる。コロナ陽性患者の入院受け入れは、5月末に県から受け入れの準備を進めるよう通知があり、今後も予断を許さない状況にある。今後も新たな感染症が発生することは考えられ、病院の建て替えに当たっては十分検討していかなければならない。市民病院の医師と看護師も、ワクチンの個別接種と集団接種に、週6日参加している。市民病院としての責務であり、市民の期待に応えなければならぬと考える。

**問** 市長に伺う。市民病院の施設建て替えの指示は、いつ発せられるのか、建て替えの時期について明確な答弁を求める。2016年に公募型ロボータルで決定した業者に委託して、病院新改革プランの策定、建て替え整備基本構想と計画を作った。計画では、2018年度に実施設計、2019年度に着工、2022年度開院予定であった。

**答** 「市長」 施設が老朽化し、早く建設させたいという意向の中で進んでいたが、経営改善を今一度努力した中で、再度検討、決定したら良いだろうという経緯になり、現在に至っている。病院事業の令和2年度決算が前提ではあるが、できるだけ早期に判断したい。

**問** 多古町長、横芝光町長との話し合いで、町立病院との統合はあり得るのか。

**答** 「市長」 両町長ともに「統合は難しい。現時点では考えていない。」という意見であった。



菊谷進一議員  
(二十一世紀の会)

## 財政問題

**問** 市税について、税収が減ったと思うがどれくらい減ったのか。

**答** 「財務課長」 令和元年度と令和2年度を比較すると、現年分と滞納分を合わせて調定額で約6、130万円減少している。合計の収納率が92・25%前後であることから、概算で6、100万円に92%を掛けた金額が減ったと考えている。

**問** 不足分はどういう形で賄ったのか、財政調整基金の中でやりくりしたのか。

**答** 「財政課長」 財政調整基金を活用した。

**問** 財政調整基金も大分減少していると思うが、今年度使う予定額は。「財政課長」 9億6、000万円の繰入れを予定している。

**問** 財源がコロナ問題で急激に枯渇している。国からコロナ対策に対する財政補助は出ているものの、市財政はひっ迫していると思うが、いかがか。また、国からの財源をプラスして補助事業などを活用するとの市長答弁があったが、検討しているのか。

**答** 「財政課長」 財政状況は非常に硬直化していると感じている。補助

事業の活用も、通常行政が行う補助事業以外に民間の補助事業等も調査している。

## 病院問題

**問** キャッシュフローについて、色々な形で入ってきた補助金等で経営がなりたっており、実質的な改善による増ではないと思うがどうか。

**答** 「病院事務局長」 キャッシュフローが増えた大きな要因は補助金といたことが大きかった。

**問** 建て替えたといっているが、総合トータル的に判断していくべきであると思う。市長が近隣の首長と話をした。多古中央病院や東陽病院と連携はとっているのか。周りの状況を正確に判断しながら行動に移って頂きたい。

**答** 「病院事務局長」 事務局同士連携の話合いを行ってきている。引き続き、多古・東陽と情報交換をしていきたい。

## 環境衛生

**問** 広域ごみ処理の運営が始まっているが、事業が進むにつれ色々な入札があり、それらの決定事項や内容について議員への報告がないが、どうか。

**答** 「市長」 決定事項であっても連絡したほうがいい事案もあるため、首長会議を通じて組合事務局と相談をしたいと思う。委託会社に対しては、地元優先をお願いしたいと申し合わせしており、再確認をしていく。



田村明美議員  
(日本共産党)